

きのかわ支援学校教育支援部だより No.1

平成30年4月

新年度が始まり、小学部 12 名、中学部 16 名、高等部 23 名の新入生を迎え、全校 173 名での新学期がスタートしました。

新入生に限らず子どもたちは、慣れない新しい環境で、新しい友達や教師と精一杯活動しようとはがんばっています。

子どもたちがスムーズに活動できるよう、教師は適切な支援を考えています。その支援こそが合理的配慮ではないかと考えます。

今年度は、教育支援部から、身近にある合理的配慮をご紹介していけたらと考えています。

提案交渉型の関わりを紹介

小学部3年生の女の子Yちゃん。和太鼓や人形劇の鑑賞が苦手です。
本校の入学式では、高等部の和太鼓部のメンバーによる歓迎太鼓があります。

担任の先生は、右のようなスケジュール表を用意しました。

それに加え、

- ① 「体育館で和太鼓を聴く？」
- ② 「体育館の外で和太鼓を聴く？」

ことを選択肢として準備し、Yちゃんに尋ねると、①を選びました。

Yちゃんは、右のスケジュールを確認しながら、

「大丈夫。」「和太鼓（が終われば）、おしまい。」と何度も自分で言い、和太鼓を体育館で聴くことができました。

教室へ帰るときには、「がんばった。」と満足そうに伝えるYちゃんでした。

にゅうがくしき	
① にゅうじょう	
② うた	
③ 1ねんせいしょうかい	
④ おはなし(こうちょうせんせい)	
⑤ おはなし	
⑥ おはなし	
⑦ うた(かがやけいのち)	
⑧ おはなし	
⑨ せんせいのしょうかい	
⑩ あいさつ	
⑪ わだいこ	
⑫ きょうしつへいく	

子どもにとって、苦手なことやしんどいことを押し付けるのではなく、

別の方法を提案することで、自分で考え、決定することができた、自分で決めて

頑張ったと本人が思える支援です。

視覚支援 + 選択肢 + 自己決定



達成感